スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

徳島県阿波市

自 治 体 名 ： 徳島県阿波市
担 当 課 名 ： 教育部　学校教育課
電 話 番 号 ： 0883-36-8741

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

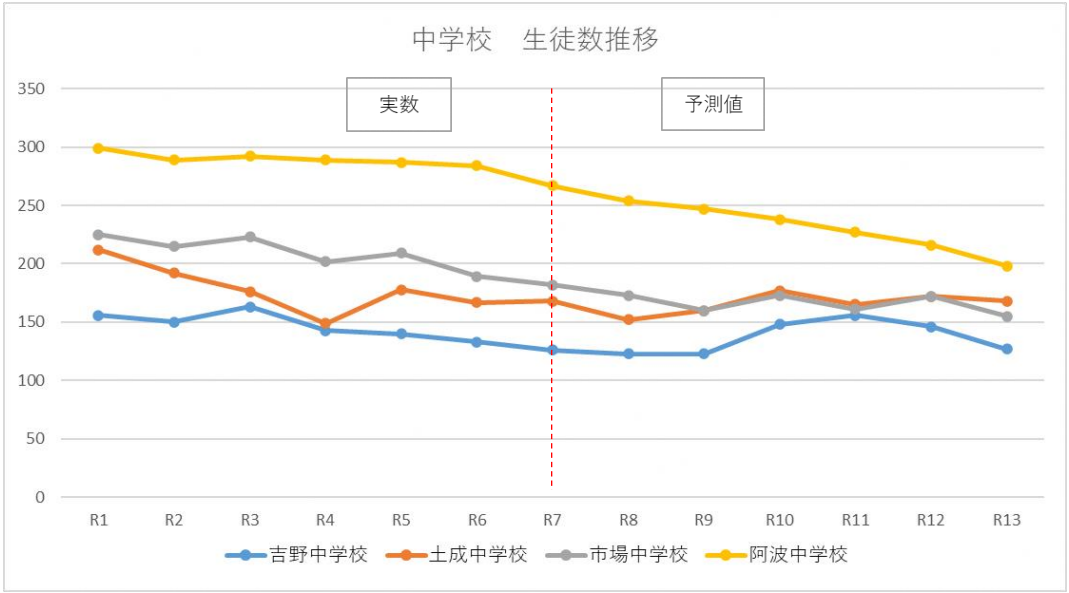
基本情報

面積	191.11㎢
人口	33,850人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	743人
部活動数 （運動部活動のみ）	35部活
地域クラブ活動数	1クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

・人口の減少とともに中学校の生徒数は令和7年度の743人に対し、令和8年度では702人、令和13年度では648人にまで減少する見込みとなっている。
令和7年度の部活動は、運動部が9種目（35部）、文化部が4種目（9部）あり、ほとんどの生徒が部活動に加入しているが、運動部の団体競技では部員不足のため単独でチームを編成することができず、他校との合同部活動や拠点校部活動を行っている部もある。
また、種目によって男子のみ、女子のみでの編成となっており、希望する種目はあっても、練習にのみ参加しているというケースもあり、生徒の活動機会をどのように確保していくのかが課題となっている。

・令和5年度より学校、地域のスポーツ・文化関係者等を委員とする部活動地域移行推進協議会を設置。市の実情に応じた持続可能な地域展開の推進と環境整備に向け、生徒等のニーズの把握や学校・関係団体とのさらなる連携を図る必要がある。

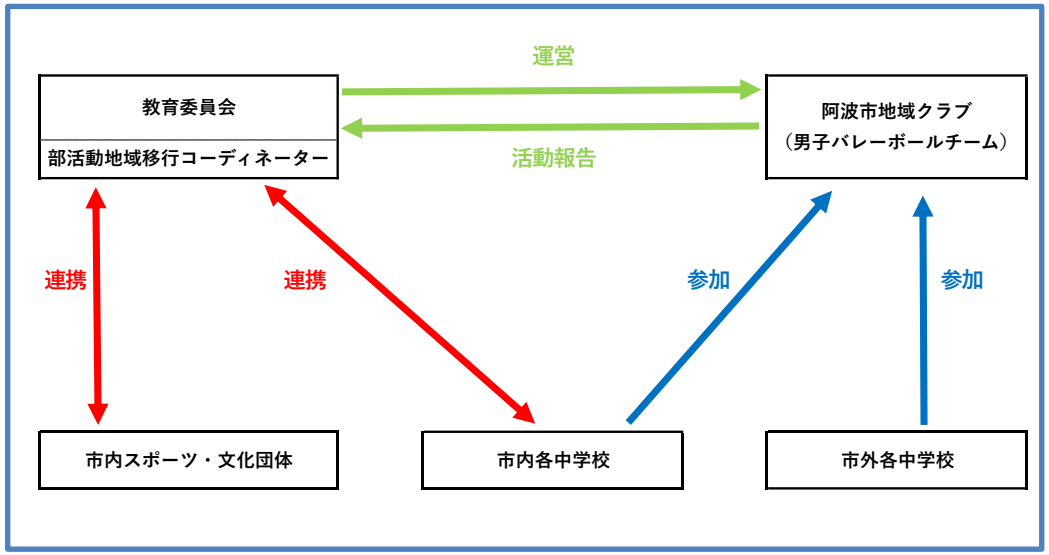


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課）

・予算の要求　・地域移行推進協議会の開催

・学校等関係機関への周知、情報交換等　・スケジュール作成　・課題の整理

◉首長部局（財政課）

・予算の確保

◉コーディネーター

・アンケート等の実施、分析による生徒等のニーズの把握　・地域移行推進協議会の運営

・学校・関係団体との連絡、調整　・地域クラブへの指導・助言

年間の事業スケジュール

【4月】　地域クラブ活動（男子バレーボール）開始

【5月】　部活動地域移行コーディネーター　任用
令和7年度第1回部活動地域移行推進協議会
生徒・保護者向けアンケート実施

【6月】　アンケート結果分析

【10月】　令和7年度第2回部活動地域移行推進協議会
地域クラブ活動（男子バレーボール）体験会

【2月】　令和7年度第3回部活動地域移行推進協議会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	4人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
レガーメ徳島バレーボールクラブ	行政部局直轄運営	バレーボール	・平日　1 回 ・休日　1 回	平日 19:00～21:00 休日 19:00～22:00	中学 1年生　4名 2年生　3名 3年生　1名	令和7年4月 から 令和8年2月 まで	4 人	4 人 （内、兼務0人）	なし （但し、保護者負担あり）	中体連大会を含む全ての大会に地域クラブとして参加

2.実証内容と成果

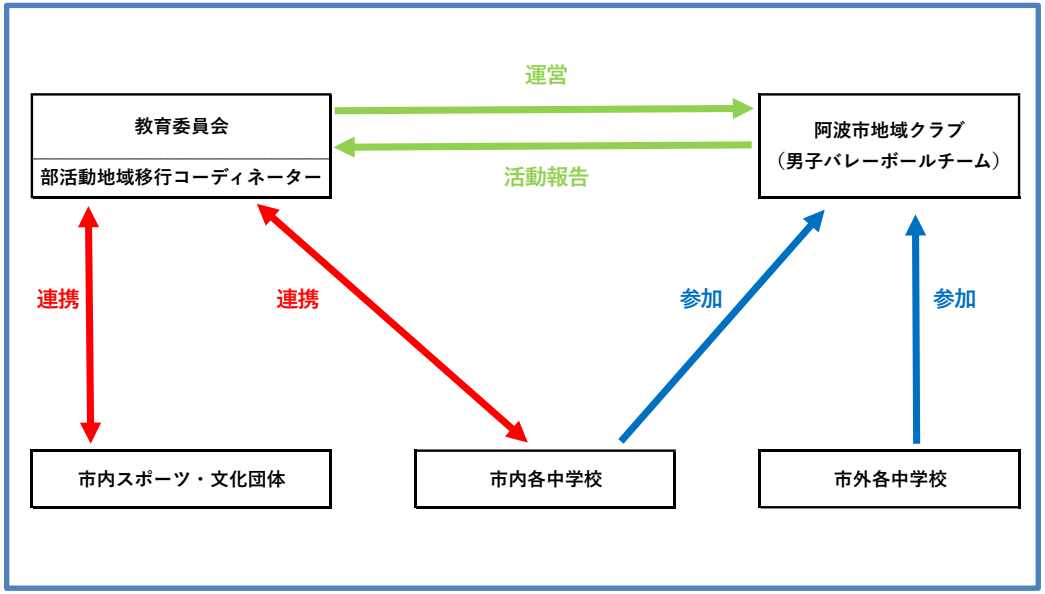
スポーツ庁

主な取組例

●阿波市地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	レガーメ徳島バレーボールクラブ
期間と日数	平日：週1回程度（1日2時間） 休日：週1回程度（1日3時間）
指導者の主な属性	スポーツ少年団の指導者
活動場所	中学校体育館
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	会費：なし 保護者負担：70,000円程度
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,525円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●阿波市（運営主体）

役割：事業委託に係る申請・報告等の手続全般、
地域クラブ指導者への助言・指導、活動に係る検証等を行う

●クラブ代表者

役割：運営主体や保護者等関係者との連携調整、活動スケジュールの管理等を行う

●指導者4名（代表者を含む）

役割：技術的指導、活動中の安全管理、参加者の出欠確認等を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- **部活動地域移行コーディネーターの配置**
  学校や関係団体等の現状把握・連絡調整や各種規則の整備等、市の実情に応じた推進に向け、環境整備を図る。
- **地域クラブにおける検証**
  持続的・安定的な運営に向けた仕組みづくりと生徒の受皿となる地域クラブの構築を目的とした検証を行う。

取組の成果

- 地域に精通した元中学校教員を専任のコーディネーターとして配置し、自己の経験や日頃の活動を生かしたアンケートの実施・分析、関係機関への訪問、関係者への説明等を行ったことで、それぞれの状況把握や関係者との連携が密に行えるようになった。
- 関係者等から聞き取った課題の整理を行い、陸上種目の部活動と地域クラブが連携したことで、試行的な合同練習の実施へとつながり、さらには令和8年度からの本実施へと進めることができた。
- 市内4中学校には部活動のなかった男子バレーボールチームを検証モデルとして運営したところ、バレーボール種目を希望する男子8名が市内外から集まり、中体連等が主催する大会等への出場を行う等、生徒の活動機会を確保することができた。

今後の取組における課題と対応方針

- **コーディネーターの役割の明確化と協力体制の構築**
  関係者との連絡調整や市の運営するチームの指導監督、アンケート・ヒアリング等による状況把握等、地域展開に係る業務は煩雑になると考えられるが、学校や関係者とのさらなる連携・協働によりコーディネーターの役割を明確にし、地域展開の推進を図る。
- **運営する地域クラブや学校間の連携**
  学校長・地域クラブ代表者等で組織する阿波市地域展開推進協議会等を引き続き開催し、阿波市地域クラブの取組への共通理解、情報共有の機会を設けるとともに、指導者研修等を実施し、活動時の安全管理の徹底と指導者の資質向上を図る。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 学校・関係団体等の現状把握・連絡調整
- 市が運営する地域クラブ関係者への指導・助言
- 部活動地域展開推進協議会の運営
- アンケート等の企画・実施・集計・分析

2.実証内容と成果

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より中学校部活動地域移行推進協議会を設置し、協議する機会を設けてきたが、令和7年度より専任のコーディネータを配置したことで、学校・関係団体からの個別のヒアリング等が可能となり、より具体的な意見を聞くことができるようになった。コーディネーターがそれらの意見を集約し、関係者間の調整に入ったことで、陸上種目での取組となり、来年度へと繋げることができた。

令和7年度より実証的に取組を行った男子バレーボールチームでは、これまでは部活動等で男子チームとしての活動機会がなかった生徒が市内外から集まり、チームを編成して大会等への参加が可能となったことで、目標を持って生き生きとした姿で練習に取組む姿が見られた。

遠くから通う生徒もいるため、練習は平日1回（2時間程度）、休日1回（3時間程度）の週2日のみだったが、指導者がこれまでの経験を生かした効率的な指導を行ったとともに、生徒の意見を尊重し、技能面だけではなく精神面での成長を育む活動となっていた。

また、コーディネーターがチームを訪問し、関係者からの聞き取りや助言を行ったことでスムーズな活動となった。

来年度からも男子バレーボールチームとして継続の予定としており、今後は生徒の受皿として、さらなる環境整備に取組む。

●成果の評価

専任の担当者を配置したことにより、アンケートの実施・分析や関係者からの個別の意見聴取等、これまで取組ができていなかったことが大きく進展し、前進できた1年であった。
意見を集約・調整したことで新たな取組に繋げることができたが、今後もさらなる意見聴取や課題整理、実施に向けての検討を行い、生徒の受皿として地域クラブが継続的・安定的な活動となるよう環境を整備していく必要がある。

●今後に向けて

令和8年度から運営チームが2種目（男子バレーボール・陸上）となることにともない、
それぞれのチームの規約に加え、阿波市地域クラブとしての共通ルールを整備するとともに、
今後の地域クラブとしての自走や、他種目へと取組を拡大することを目的とした環境
整備を行う。

- 地域クラブ活動に関する認定制度の創設
  国の考え方を基本とした上で、運営主体や種目にとらわれない共通の認定基準を検討していく。
- 課題の再整理と解決に向けた検討
  これまでの課題に加え、チーム運営から生じる課題を再整理し、費用負担や学校等との関わり方等地域クラブの在り方についての検討を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料





【阿波市地域クラブ（バレーボール）練習の様子】





【阿波市地域クラブ（バレーボール）体験会】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年	令和６年	令和７年			令和８年
部活動地域移行推進協議会設置	教職員向けアンケートの実施	地域クラブ活動実証事業開始	コーディネーターの配置	中学校生徒・保護者向けアンケートの実施	地域クラブ活動の拡大等

●部活動地域移行推進協議会

（構成）中学校長、地域スポーツ関係者、
地域文化活動関係者、PTA関係者、
学識経験者、教育委員会　等
（令和7年度より小学校校長代表、
市運営の地域クラブ代表者を追加）

（開催実績）
令和5年度　2回（9月・11月）
令和6年度　3回（9月・10月・2月）
令和7年度　3回（5月・10月・2月）

（協議内容）
・市内中学校部活動の現状や県内の状況報告
・アンケート実施の検討と結果報告
・国の動向について
・実証事業の検討・報告　等

●アンケート

令和6年12月　教職員向けアンケート
（部活動担当の有無と負担感、
活動時間・意義等への考え方、
地域移行に関する考え方　等）
令和7年5月　生徒・保護者向けアンケート
（取組んでいる部活動・習い事、
費用負担、今後希望する分野、
活動時間・意義等への考え方、
地域移行に関する考え方　等）

●阿波市地域クラブ（市が運営）

令和7年4月　レガーメ徳島バレーボールチーム
（男子バレーボール）実証開始
令和7年10月　レガーメ徳島体験会を実施
令和7年11月　阿波市陸上クラブ試行実施
中学校陸上部との合同練習（休日のみ）
令和8年2月　阿波市陸上クラブ体験会
〃　保護者説明会

●実施に当たって生じた課題

アンケートを実施した結果、部活動や地域クラブに対する意見にばらつきが見られる点もあった。
また、部活動や地域クラブそれぞれの背景や形があり、それぞれに適した今後の取組を模索し、合意形成を図るためには、多くの課題への対応と関係者間の密な連携が必要となる。

●今後の展開

令和8年度より2種目（男子バレーボール・陸上）の地域クラブを運営し、課題の再整理を行った上で、阿波市地域クラブとしての共通ルールを確立し、今後の地域クラブとしての自走や、他種目へと取組を拡大することを目的とした環境整備を図る。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

